

〔外貨バルク貨物(農水産品:麦)の効率的陸上輸送ネットワーク維持便益〕

麦を輸送する陸上輸送費用の削減額を算出する。取扱貨物量を465千トン/年(平成23年度)と予測。対象プロジェクトの実施により、12.1億円/年の輸送費用が削減可能となる。

【陸上輸送費用】

項目		With時 博多港須崎ふ頭地区	Without時		佐世保港
			博多港箱崎ふ頭地区		
			箱崎ふ頭→須崎ふ頭	須崎ふ頭→仕向地	
貨物取扱量(トン/年)		465,090	66,883		398,207
仕向地別取扱量 (トン/年)	福岡市東区	65,557	0	0	56,129
	福岡市中央区	0	5,994	0	35,684
	筑後市	47,935	6,893	6,893	41,042
	うきは市	29,517	4,245	4,245	25,272
	佐賀県(鳥栖)	140,023	20,136	20,136	119,886
	佐賀県(佐賀)	35,006	5,034	5,034	29,972
	熊本県	105,376	15,154	15,154	90,222
輸送費用(円/台)	福岡市東区	15,140	0	0	67,820
	福岡市中央区	0	15,140	0	67,820
	筑後市	43,820	15,140	43,820	63,320
	うきは市	43,520	15,140	43,520	63,020
	佐賀県(鳥栖)	31,640	15,140	31,640	55,920
	佐賀県(佐賀)	47,200	15,140	47,200	45,960
	熊本県	64,920	15,140	64,920	85,020
使用台数(台/年)	福岡市東区	6,556	0	0	5,613
	福岡市中央区	0	600	0	3,569
	筑後市	4,794	690	690	4,105
	うきは市	2,952	425	425	2,528
	佐賀県(鳥栖)	14,003	2,014	2,014	11,989
	佐賀県(佐賀)	3,501	504	504	2,998
	熊本県	10,538	1,516	1,516	9,023
陸上輸送費用(円/年)	福岡市東区	99,257,840	0	0	380,673,660
	福岡市中央区	0	9,084,000	0	242,049,580
	筑後市	210,073,080	10,446,600	30,235,800	259,928,600
	うきは市	128,471,040	6,434,500	18,496,000	159,314,560
	佐賀県(鳥栖)	443,054,920	30,491,960	63,722,960	670,424,880
	佐賀県(佐賀)	165,247,200	7,630,560	23,788,800	137,788,080
	熊本県	684,126,960	22,952,240	98,418,720	767,135,460
	小計	1,730,231,040	87,039,860	234,662,280	2,617,314,820
陸上輸送費用削減便益(計)(億円/年)		12.09			

※ With時において、福岡市中央区については、仕向地別取扱量41,678トン/年があるが、須崎ふ頭地区から背後にベルトコンベアで直送されるため、0トン/年としている。

※ Without時において、福岡市東区については、仕向地別取扱量が9,427トン/年があるが、箱崎ふ頭地区から背後にベルトコンベアで直送されるため、0トン/年としている。

※ Without時において、福岡市中央区については、須崎ふ頭から仕向地への仕向地別取扱量が5,994トン/年があるが、須崎ふ頭地区から背後にベルトコンベアで直送されるため、0トン/年としている。

【外貨バルク貨物(農水産品:とうもろこし)の効率的陸上輸送ネットワーク維持便益】

とうもろこしを輸送する陸上輸送費用の削減額を算出する。取扱貨物量を310千トン/年(平成23年度)と予測。対象プロジェクトの実施により、3.9億円/年の輸送費用が削減可能となる。

【陸上輸送費用】

項目		With時	Without時			
			博多港須崎ふ頭地区	博多港箱崎ふ頭地区		佐世保港
				箱崎ふ頭→須崎ふ頭	須崎ふ頭→仕向地	
貨物取扱量(トン/年)		310,243		44,981	265,262	
仕向地別取扱量(トン/年)	福岡市中央区	0	4,750	0	28,012	
	柳川市	47,671	6,912	6,912	40,760	
	朝倉市	72,082	10,451	10,451	61,631	
	佐世保	139,091	20,166	20,166	118,925	
	大分県	18,637	2,702	2,702	15,935	
輸送費用(円/台)	福岡市中央区	0	15,140	0	52,920	
	柳川市	37,820	15,140	37,820	45,560	
	朝倉市	29,920	15,140	29,920	52,920	
	佐世保	52,920	15,140	52,920	0	
	大分県	63,720	15,140	63,720	85,320	
使用台数(台/年)	福岡市中央区	0	476	0	2,802	
	柳川市	4,768	692	692	4,076	
	朝倉市	7,209	1,046	1,046	6,164	
	佐世保	13,910	2,017	2,017	11,893	
	大分県	1,864	271	271	1,594	
陸上輸送費用(円/年)	福岡市中央区	0	7,206,640	0	148,281,840	
	柳川市	180,325,760	10,476,880	26,171,440	185,702,560	
	朝倉市	215,693,280	15,836,440	31,296,320	326,198,880	
	佐世保	0	0	0	0	
	大分県	118,774,080	4,102,940	17,268,120	136,000,080	
小計	514,793,120	37,622,900	74,735,880	796,183,360		
陸上輸送費用削減便益(計)(億円/年)			3.94			

※ With時において、福岡市中央区については、仕向地別取扱量が32,762トン/年あるが、須崎ふ頭地区から背後にベルトコンベアで直送されるため、0トン/年としている。

※ Without時において、福岡市中央区については、須崎ふ頭地区から仕向地への仕向地別取扱量が4,750トン/年あるが、須崎ふ頭地区から背後にベルトコンベアで直送されるため、0トン/年としている。

【外貨バルク貨物(農水産品:豆類)によるの効率的陸上輸送ネットワーク維持便益】

豆類を輸送する陸上輸送費用の削減額を算出する。取扱貨物量を36千トン/年(平成23年度)と予測。対象プロジェクトの実施により、1.1億円/年の輸送費用が削減可能となる。

【陸上輸送費用】

項目		With時	Without時	
			博多港須崎ふ頭地区	博多港箱崎ふ頭地区
貨物取扱量(トン/年)		36,189	5,408	30,781
仕向地別取扱量(トン/年)	福岡市東区	36,189	0	30,781
輸送費用(円/台)	福岡市東区	15,140	0	52,920
使用台数(台/年)	福岡市東区	3,619	0	3,079
陸上輸送費用(円/年)	福岡市東区	54,791,660	0	162,940,680
小計		54,791,660	0	162,940,680
陸上輸送費用削減便益(計)(億円/年)			1.08	

※ Without時において、福岡市東区については、箱崎ふ頭地区から仕向地への仕向地別取扱量が5,408トン/年あるが、箱崎ふ頭地区から背後にベルトコンベアで直送されるため、0トン/年としている。

【外貨バルク貨物(農水産品:その他雑穀)の効率的陸上輸送ネットワーク維持便益】

その他雑穀を輸送する陸上輸送費用の削減額を算出する。取扱貨物量を9千トン/年(平成23年度)と予測。対象プロジェクトの実施により、0.2億円/年の輸送費用が削減可能となる。

【陸上輸送費用】

項目		With時	Without時			
			博多港須崎ふ頭地区	博多港箱崎ふ頭地区		佐世保港
				箱崎ふ頭→須崎ふ頭	須崎ふ頭→仕向地	
貨物取扱量(トン/年)		9,246		1,408	7,838	
仕向地別取扱量(トン/年)	朝倉市	9,246	1,408	1,408	7,838	
輸送費用(円/台)	朝倉市	29,920	15,140	29,920	52,920	
使用台数(台/年)	朝倉市	925	141	141	784	
陸上輸送費用(円/年)	朝倉市	27,676,000	2,134,740	4,218,720	41,489,280	
小計		27,676,000	2,134,740	4,218,720	41,489,280	
陸上輸送費用削減便益(計)(億円/年)			0.20			

[大型船舶への対応による海上輸送コスト削減便益]

農水産物を輸送する海上輸送費用の削減額を算出する。Without時の利用船型は18000DWT、Without時の利用船型は30000DWTとして設定し、取扱貨物量は須崎ふ頭地区、箱崎ふ頭地区の両地区で1362千トン／年(平成26年度)と予測。対象プロジェクトの実施により、17.3億円／年の輸送コストが削減可能となる。

【海上輸送費用】

項 目			With時	Without時
			30000DWT	18000DWT
貨物取扱量(トン／年)	麦	ポートランド	422,514	
		プリンスルパード	190,053	
		フリーマントル	171,990	
	とうもろこし	ニューオーリンズ	460,966	
	豆類	ニューオーリンズ	94,868	
		イタコチアラ	10,045	
	その他雑穀	ニューオーリンズ	11,591	
輸送隻数(隻／年)	麦	ポートランド	14.1	23.5
		プリンスルパード	6.3	10.6
		フリーマントル	5.7	9.6
	とうもろこし	ニューオーリンズ	15.4	25.6
	豆類	ニューオーリンズ	3.2	5.3
		イタコチアラ	0.3	0.6
	その他雑穀	ニューオーリンズ	0.4	0.6
輸送費用(千円／隻)	麦	ポートランド	82,710	65,310
		プリンスルパード	82,710	65,310
		フリーマントル	82,710	65,310
	とうもろこし	ニューオーリンズ	170,934	134,974
	豆類	ニューオーリンズ	170,934	134,974
		イタコチアラ	220,560	174,160
	その他雑穀	ニューオーリンズ	170,934	134,974
海上輸送費用(千円／年)	麦	ポートランド	1,164,871.0	1,533,021.5
		プリンスルパード	523,975.4	689,574.7
		フリーマントル	474,176.1	624,036.7
	とうもろこし	ニューオーリンズ	2,626,492.1	3,456,579.2
	豆類	ニューオーリンズ	540,536.6	711,369.9
		イタコチアラ	73,849.4	97,189.1
	その他雑穀	ニューオーリンズ	66,043.2	86,915.8
海上輸送費用削減便益(計)(億円／年)			17.29	